

# 子どもの健康づくり連携事業〈専門医の派遣〉実践例

中学校⑤

## 〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「知ってほしい性と生  
～産婦人科医からのメッセージ～」
- 2 対 象 3年生徒
- 3 専門医 井上 聡子 医師  
(さとこ女性クリニック)
- 4 実施月 7月
- 5 内 容(キーワード)

- ・性感染症予防について正しい知識を得る。
- ・性に関わる多様な現実があることを学んだ上で、自分を守るための具体的な方法を学び、自己実現に向けて判断し行動することを考える。



## 評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

### ①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

#### <その理由>

\*産婦人科医師としてのご経験や実際に起こった事例から、自分と自分の未来を守るための内容には生徒も真剣に聞き入り、自分の事として受け止められた。性の多様性に関する内容は、社会科や総合的な学習で学んだ SDGsの内容につなげながら真剣に聞き入っていた。お互いを認め合える社会を目指していくことを感想に記入した生徒が多かった。

### ②保健教育における校内連携について

- 有効だった  
有効でなかった

#### <その理由>

\*専門医派遣事業を活用することで講師をお招きして、生徒の未来に必要な学びの場を設定することが定着している。

### ③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった  
有効でなかった

#### <その理由>

\*産婦人科医師の願いやべにサポやまがた等の取組紹介を通して、生徒に安心感を与えていただいた。このことを感想に記入した生徒も多くいた。講師との連携も深まり、来年度の講演も依頼することができた。

## 〔教科やその他の指導との関連性〕

- 保健：性感染症の予防  
学活：キャリア教育



←講師が講演中に紹介した書籍を図書館でも紹介している

## 〔受講者の感想など〕

- 現代では健康を守るためのピルや#8891 で誰にでも優しい世界へと進んでいます。生理に異変があったら産婦人科の先生が快く診察してくれます。誰かに頼ること・相談することは自分を守るために大切なことです。適切な判断で健やかな未来を生きる18歳になってください。
- 最初は困惑したけど、男性にも意味のある内容でした。異性との関係には「納得・同意・安全・安心・快適」であることが大事です。また「少数派がハッピーなら皆ハッピー」ということにも共感しました。依存することに悪いイメージを持っていましたが、自分を守るために大切なことだと知りました。